

特別賛助会員 募集趣意書

日本人工関節学会は1971年に第一回人工関節研究会として発足しました。破壊された関節機能を人工物によって再建しようという試みは20世紀の前半から盛んに行われましたが、長期間にわたって生体内で機能させるためには多くのハードルがありました。50年前にSir John Charnleyによって開発された人工股関節がこの高いハードルを打ち破るbreak through的成果をあげたことで、人工関節が関節外科における革新的治療として普及してきました。

現在では人工関節は既に最も成功した治療として広く認知され、股関節のみでなく、膝関節はじめ全身の関節に人工関節が使用されるようになっており、本邦において年間12万件以上の手術がなされています。また、Technologyの進歩は著しく、人工関節を構成する要素については多くの改善がなされ、更に治療成績の向上が期待されます。一方、手術件数の増加に伴って合併症も増加しており、新たな開発、改良に伴って新たな問題が浮上することも多いのが実情です。これらの問題に対処するために、既に欧米では人工関節種々の全症例登録システム（レジストリー制度）が施行されて多くの有用な成果を挙げています。

日本人工関節学会におきましてもこのシステムの整備が重要な課題と位置づけ、6年間の試行期間を経て、このシステムを全国展開して普及させるべく活動してまいります。

つきましては、当法人の目的にご賛同いただき、事業を賛助していただける特別賛助会員・一般賛助会員を募集いたします。ぜひとも当法人の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年2月

一般社団法人日本人工関節学会
理事長 飯田 寛和

特別賛助会員 入会申込書

平成 年 月 日

日本人工関節学会 御中

(以下のいずれかの方法でお申し込みください)

Fax : 03-6267-4555

郵便 : 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル (株)毎日学術フォーラム内
一般社団法人日本人工関節学会 会員係

E-mail 添付 : jsra@mynavi.jp

日本人工関節学会の事業目的に賛同し、下記のとおり申し込みます。

(フリガナ)
社名 :

(〒 -)

所在地: 都道
府県

事業所:

部 課 名:

担当者名:

電話番号:

FAX 番号:

メールアドレス:

担当者印

会員種別 : 人工関節に関する売上高に応じて会員種別を選択してください。

特別賛助会員 A (150 億円以上)

特別賛助会員 B (75 億円以上 150 億円未満)

特別賛助会員 C (75 億円未満)